

年間指導計画・評価計画(書写)第2学年

担当:川元・菅・湯澤

月	単元						評価の観点	評価の観点	評価の観点	評価の観点	評価の観点
	単元名	時数	学習の目標(ねらい)及び内容	評価の観点							
				知識及び技能	思考力・判断力・表現力等	主体的に学習に取り組む態度					
4月	点画の省略	3	◎漢字の行書の書き方(点画の省略)を理解して、読みやすく書くことができる。【ICT活用】	○	○	○	【知】漢字の行書の書き方(点画の省略)を理解して、読みやすく書くことができる。【ICT活用】 【思】(毛筆で「雲海」を書くなかで、行書の書き方<点画の省略>を確かめている。) 【態】進んで①(行書の書き方(点画の省略)を理解し③)、学習課題に沿って②「雲海」を書くことができる④。	授業観察、作品、テスト			
5月	筆順の変化	3	◎漢字の行書の書き方(筆順の変化)を理解して、読みやすく書くことができる。【ICT活用】	○	○	○	【知】漢字の行書の書き方(筆順の変化)を理解して、読みやすく書くことができる。【ICT活用】 【思】(毛筆で「紅花」を書くなかで、行書の書き方<筆順の変化>を確かめている。) 【態】進んで①(行書の書き方(筆順の変化)を理解し③)、学習課題に沿って②「紅花」を書くことができる④。	授業観察、作品、テスト			
6・7月	行書に調和する仮名(いろは歌)	3	◎行書に調和した仮名の書き方を理解して、読みやすく書くことができる。【ICT活用】	○	○	○	【知】行書に調和した仮名の書き方を理解して、読みやすく書くことができる。【ICT活用】 【思】(小筆で「いろは歌」を書くなかで、行書に調和した仮名の書き方を確かめている。) 【態】進んで①(行書に調和した仮名の書き方を理解し③)、学習課題に沿って②「いろは歌」を書くことができる④。	授業観察、作品、テスト			
9月	行書と仮名の調和	3	◎漢字の行書とそれに調和した仮名の書き方を理解して、読みやすく書くことができる。【ICT活用】	○	○	○	【知】漢字の行書とそれに調和した仮名の書き方を理解して、読みやすく書くことができる。【ICT活用】 【思】(毛筆で「豊かな心」「深まる秋」を書くなかで、行書に仮名を調和させるための書き方を確かめている。) 【態】進んで①(行書とそれに調和した仮名の書き方を理解し③)、学習課題に沿って②「豊かな心」「深まる秋」を書くことができる④。	授業観察、作品、テスト			
10月	行書を活用しよう	2	◎漢字の行書とそれに調和した仮名の書き方を理解して、読みやすく書くことができる。【ICT活用】	○	○	○	【知】漢字の行書とそれに調和した仮名の書き方を理解して、読みやすく書くことができる。【ICT活用】 【思】(行書で本の帯やノートなどを書くなかで、今までに学習した知識・技能の生かし方を考えている。) 【態】進んで①(習得した知識・技能を振り返り③)、これまでの学習を生かして②本の帯やノートなどを書くことができる④。	授業観察、作品、テスト			
	壁新聞を作ろう	1	◎今までに学習した知識・技能を生かして書くことができる。【ICT活用】	○	○	○	【知】今までに学習した知識・技能を生かして書くことができる。【ICT活用】 【思】(壁新聞を作る活動のなかで、今までに学習した知識・技能の生かし方を考えている。) 【態】進んで①(習得した知識・技能を振り返り③)、これまでの学習を生かして②壁新聞を作ろうとしている④。	授業観察、作品、テスト			
11月	「デザインと文字」を考えよう	1	◎目的や必要に応じて、文字を選んで書くことの意義を理解することができる。【ICT活用】	○	○	○	【知】目的や必要に応じて、文字を選んで書くことの意義を理解している。【ICT活用】 【思】(テレビ番組のタイトル文字を選ぶ活動のなかで、目的や必要に応じて文字を選んで書くことの意義を確かめている。) 【態】進んで①(テレビ番組のタイトル文字を選び③)、学習課題に沿って②①～④それぞれの印象や文字を選んだ理由を話し合おうとしている④。	授業観察、作品、テスト			
	楷書と行書の使い分け	2	◎目的や必要に応じて、楷書又は行書を選んで書くことができる。【ICT活用】	○	○	○	【知】目的や必要に応じて、楷書または行書を選んで書いている。【ICT活用】 【思】(インタビューメモや入学願書を書く活動のなかで、目的や必要に応じて書体を選択して書くことの必要性を確かめている。) 【態】進んで①(書体を選択して書く必要性を理解し③)、学習課題に沿って②適切な書体を選んで書くことができる④。	授業観察、作品、テスト			
12月	「コラム」物語を千年書き継ぐ(源氏物語)	1	◎書くことで物語を後世に伝えてきた文字の役割を理解し、書写学習への関心を高めることができる。【ICT活用】	○	○	○	【知】文字の役割について理解している。【ICT活用】 【思】(「源氏物語」の変遷を確かめるなかで、文字の役割について考えている。) 【態】進んで①(「源氏物語」の変遷を確かめ③)、学習の見通しをもって②文字の役割について話し合おうとしている④。	授業観察、作品、テスト			
1・2・3月	「国語」季節のしおり2	1	◎今までに学習した知識・技能を生かして書くことができる。【ICT活用】	○	○	○	【知】今までに学習した知識・技能を生かして書くことができる。【ICT活用】 【思】(季節の言葉をなぞる活動のなかで、今までに学習した知識・技能の生かし方を考えている。) 【態】積極的に①(習得した知識・技能を振り返り③)、これまでの学習を生かして②季節の言葉をなぞろうとしている④。	授業観察、作品、テスト			